

スパイラル型車避表示帯の開発について

平成17年3月3日
北陸電力株式会社

当社では、車両等への注意喚起のため、車の往来が頻繁な道路等に施設する電柱には、これまで平板形状の「車避表示板」を取付けていましたが、コストダウンおよび作業性向上の観点から、今般、「スパイラル型車避表示帯」（以下、「スパイラル表示帯」という）を開発し実用化いたしましたので、ご案内いたします。
概要は以下のとおりです。

1. 概要

スパイラル表示帯は、帯状のポリエチレン本体に黄色の反射テープを貼付けたもので、これを電柱に巻き付け、上下端部を取付バンドで固定する。
スパイラル表示帯の視認性は、従来品と遜色がなく、夜間の車両走行時においても十分識別可能。

[スパイラル型車避表示帯]



[取付作業]



寸法	本体(長さ350cm×幅7.5cm)	反射テープ(長さ350cm×幅2cm)
色	本体(黒色)	反射テープ(黄色)
適用範囲	全サイズの電柱に適用可能	

2. 特長

(1) コストダウン

スパイラル表示帯は、隙間を設けて電柱に巻き付ける構造のため、従来品よりも使用材料および部材が削減でき、約25%のコストダウンとなった。

(2) 作業性向上

従来品は、電柱裏側で本体をバンド固定する構造のため、取付作業の際に本体の仮支えが必要であったが、スパイラル表示帯は、電柱に自然に巻き付く構造のため、1人で容易に取付けできる。

[車避表示板(従来品)]



[スパイラル型車避表示帯]



以上